



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田尚洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 杉本貞章 (TEL) 054-205-6363
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,685	45.9	802	381.4	1,023	372.1	667	256.9
2019年3月期第2四半期	7,324	△30.3	166	△89.6	216	△86.4	186	△82.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 666百万円 (240.0%) 2019年3月期第2四半期 196百万円 (△82.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	92.00	—
2019年3月期第2四半期	25.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	37,148	19,772	53.2
2019年3月期	35,178	19,283	54.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,768百万円 2019年3月期 19,279百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	7.9	2,650	12.9	2,650	4.5	1,750	7.0	242.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,030,248株	2019年3月期	8,030,248株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	703,407株	2019年3月期	815,107株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	7,253,798株	2019年3月期2Q	7,215,177株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や底堅い企業収益を背景に、景気は緩やかな回復基調が継続しておりました。その一方で相次ぐ自然災害の日本経済への影響に加え、米中貿易摩擦の長期化などを背景に先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産業界では、好条件の不動産への取得意欲は引続き底堅く感じられ、特に企業の設備投資意欲は底堅く推移いたしました。このような環境下にあつて、当社グループの不動産事業分野では、企業誘致物件や宅地造成物件など流動性の高い不動産の確保や購入側のメリットを企画提案するなど積極的な営業活動を推進してまいりました。また、前連結会計年度の不動産投資法人の資産運用会社の設立を機に不動産証券化事業への取組みを一層強化してまいりました。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、工場やラインの集約化及び製品群を絞り込み受注活動を強化推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は106億85百万円（前年同四半期比45.9%増）、営業利益は8億2百万円（前年同四半期比381.4%増）、経常利益は10億23百万円（前年同四半期比372.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億67百万円（前年同四半期比256.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、在庫分譲マンションの引渡しが行われましたが、減収減益となりました。

この結果、売上高は10億72百万円（前年同四半期比54.0%減）、セグメント利益（営業利益）は6百万円（前年同四半期比96.7%減）となりました。

②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、商工業・物流施設用地などの引渡しが実現したことなどにより大幅な増収増益となりました。

この結果、売上高は33億55百万円（前年同四半期比177.4%増）、セグメント利益（営業利益）は7億13百万円（前年同四半期比324.9%増）となりました。

③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、大手食品メーカー工場の請負工事の引渡しなどもあり大幅な増収増益となりました。

この結果、売上高は38億60百万円（前年同四半期比356.1%増）、セグメント利益（営業利益）は3億66百万円（前年同四半期比263.5%増）となりました。

④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、工場やラインの集約化及び製品群の絞り込みや原価低減努力などもあり減収増益（セグメント損失）となりました。

この結果、売上高は15億77百万円（前年同四半期比30.1%減）、セグメント損失（営業損失）は1億1百万円（前年同四半期は2億3百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

その他事業におきましては、飲料製造事業において新規顧客開拓を進めたことに伴い売上高が増加したものの、それに伴う初期費用なども発生し、増収減益となりました。

この結果、売上高は8億20百万円（前年同四半期比20.8%増）、セグメント利益（営業利益）は67百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

なお、記載金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は371億48百万円（前連結会計年度比5.6%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金や未成工事支出金などが減少したものの、販売用不動産などが増加したことにより、272億79百万円（前連結会計年度比1.4%増）となりました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより、98億69百万円（前連結会計年度比19.2%増）となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金の増加などにより、155億2百万円（前連結会計年度比13.9%増）となりました。固定負債は、長期借入金の減少などにより、18億73百万円（前連結会計年度比17.9%減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は197億72百万円（前連結会計年度比2.5%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は53.2%（前連結会計年度比1.6ポイント減）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、12億51百万円（前年同四半期比38.0%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益（10億14百万円）や減価償却費（63百万円）、売上債権の減少（5億36百万円）などによる資金調達に対し、役員賞与引当金の減少（△1億20百万円）やたな卸資産（主として販売用不動産）の増加（△24億83百万円）、仕入債務の減少（△10億12百万円）、未払消費税等の減少（△2億78百万円）、前受金の減少（△14億71百万円）、法人税等の支払（△9億20百万円）などにより支出した結果、営業活動により支出した資金は47億81百万円（前年同四半期は29億61百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

固定資産の売却（13百万円）などによる資金調達に対し、固定資産の取得（△1億20百万円）や投資有価証券の取得（△15億69百万円）などにより支出した結果、投資活動により支出した資金は14億98百万円（前年同四半期は1億円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増（50億80百万円）や長期借入れによる収入（3億90百万円）などによる資金調達に対し、長期借入金の返済（△4億94百万円）や配当金の支払（△3億2百万円）などにより支出した結果、財務活動により得られた資金は45億87百万円（前年同四半期は30億48百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で、2019年4月26日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,244,783	1,551,727
受取手形及び売掛金	1,418,623	882,046
商品及び製品	311,754	423,571
仕掛品	3,859	5,406
原材料及び貯蔵品	66,757	61,936
販売用不動産	20,350,667	23,401,910
未成工事支出金	973,291	6,518
その他	531,497	950,814
貸倒引当金	△5,100	△4,201
流動資産合計	26,896,135	27,279,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	607,086	716,939
土地	2,225,402	2,230,271
その他（純額）	356,362	281,098
有形固定資産合計	3,188,850	3,228,309
無形固定資産	121,129	114,004
投資その他の資産		
投資有価証券	4,466,591	6,064,913
繰延税金資産	210,115	155,625
その他	364,377	375,357
貸倒引当金	△68,991	△69,166
投資その他の資産合計	4,972,093	6,526,729
固定資産合計	8,282,073	9,869,043
資産合計	35,178,208	37,148,775
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,560,712	548,124
短期借入金	7,441,772	12,521,900
1年内返済予定の長期借入金	770,008	1,052,688
未払法人税等	868,286	239,766
賞与引当金	61,747	59,852
役員賞与引当金	120,000	—
その他	2,789,383	1,080,414
流動負債合計	13,611,910	15,502,746
固定負債		
長期借入金	1,569,934	1,182,590
その他	713,251	691,362
固定負債合計	2,283,185	1,873,952
負債合計	15,895,096	17,376,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,463,731	3,555,182
利益剰余金	16,112,008	16,476,301
自己株式	△487,320	△453,471
株主資本合計	19,188,419	19,678,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,974	90,349
その他の包括利益累計額合計	90,974	90,349
非支配株主持分	3,718	3,714
純資産合計	19,283,112	19,772,076
負債純資産合計	35,178,208	37,148,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	7,324,217	10,685,988
売上原価	6,092,487	8,965,689
売上総利益	1,231,729	1,720,298
販売費及び一般管理費	1,065,051	917,915
営業利益	166,677	802,382
営業外収益		
受取利息	79	1,078
受取配当金	7,666	8,500
仕入割引	13,935	9,680
不動産取得税還付金	3,430	—
匿名組合投資利益	44,697	229,105
受取手数料	2,618	2,812
その他	9,626	7,030
営業外収益合計	82,055	258,207
営業外費用		
支払利息	31,587	35,896
その他	265	711
営業外費用合計	31,853	36,607
経常利益	216,879	1,023,983
特別利益		
固定資産売却益	—	3,969
預り保証金等解約益	70,000	—
特別利益合計	70,000	3,969
特別損失		
固定資産除却損	673	13,403
特別損失合計	673	13,403
税金等調整前四半期純利益	286,206	1,014,549
法人税、住民税及び事業税	40,259	291,975
法人税等調整額	58,984	55,249
法人税等合計	99,243	347,224
四半期純利益	186,963	667,324
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,963	667,329

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	186,963	667,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,109	△624
繰延ヘッジ損益	42	—
その他の包括利益合計	9,151	△624
四半期包括利益	196,115	666,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,115	666,704
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	286,206	1,014,549
減価償却費	76,533	63,193
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,108	△723
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,007	△1,894
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△120,000	△120,000
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,830	—
預り保証金等解約益	△70,000	—
匿名組合投資損益 (△は益)	△44,697	△229,105
株式報酬費用	—	49,975
受取利息及び受取配当金	△7,746	△9,579
支払利息	31,587	35,896
固定資産売却損益 (△は益)	—	△3,969
固定資産除却損	673	13,403
売上債権の増減額 (△は増加)	130,103	536,576
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,301,493	△2,483,838
未収消費税等の増減額 (△は増加)	2,935	△42,271
仕入債務の増減額 (△は減少)	△223,950	△1,012,587
未払金の増減額 (△は減少)	△233,139	58,851
未払消費税等の増減額 (△は減少)	109,569	△278,712
前受金の増減額 (△は減少)	33,603	△1,471,210
預り金の増減額 (△は減少)	61,061	△3,319
その他	△56,398	53,180
小計	△2,331,099	△3,831,584
利息及び配当金の受取額	7,751	9,584
利息の支払額	△33,130	△39,001
法人税等の支払額	△604,891	△920,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,961,368	△4,781,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△115,183	△120,851
固定資産の売却による収入	—	13,941
投資有価証券の取得による支出	△37,812	△1,569,318
投資有価証券の売却による収入	39,643	198,718
貸付けによる支出	—	△6,000
貸付金の回収による収入	100	105
その他	12,359	△15,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,891	△1,498,883

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,977,396	5,080,128
長期借入れによる収入	760,000	390,000
長期借入金の返済による支出	△402,822	△494,664
リース債務の返済による支出	△12,053	△10,816
自己株式の取得による支出	—	△74,603
配当金の支払額	△273,743	△302,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,048,777	4,587,325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,482	△1,693,055
現金及び現金同等物の期首残高	920,644	2,944,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	907,162	1,251,727

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社は、2019年8月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式69,700株の取得を行っており、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が74,603千円増加いたしました。

また、2019年7月8日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月7日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式181,400株の処分を行っており、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が91,450千円増加、自己株式が108,451千円減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末において資本剰余金は3,555,182千円、自己株式は453,471千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,332,025	1,209,346	846,379	2,257,109	6,644,860	679,357	7,324,217
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,018	257,530	260,548	63,104	323,653
計	2,332,025	1,209,346	849,397	2,514,639	6,905,409	742,461	7,647,870
セグメント利益又は損失(△)	205,506	167,957	100,776	△203,433	270,807	77,985	348,793

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	270,807
「その他」の区分の利益	77,985
セグメント間取引消去	33,214
全社費用(注)	△215,329
四半期連結損益計算書の営業利益	166,677

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,072,380	3,355,205	3,860,737	1,577,123	9,865,446	820,541	10,685,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,198	123,460	126,658	39,500	166,159
計	1,072,380	3,355,205	3,863,935	1,700,584	9,992,105	860,042	10,852,148
セグメント利益又は損失 (△)	6,877	713,735	366,316	△101,265	985,663	67,918	1,053,582

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	985,663
「その他」の区分の利益	67,918
セグメント間取引消去	13,037
全社費用（注）	△264,237
四半期連結損益計算書の営業利益	802,382

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。